

■ ボランティア活動（地域参加者）

展示会の魅力を来館者に伝えるボランティアを公募し、支援会員の方も含め、あわせて延べ16名の方が活動してくださいました。ご協力ありがとうございました。活動後の感想を一部紹介します。「毎回、違うお客様がいらっしゃるの、毎回違うことが起こり、あの接し方でよかったのかと難しく感じることもあり、同時に楽しくもあった」「活動を通して、同じ作品をくりかえし何度も見るという初めての経験をし、作品の見え方が変わっていくことが面白かった」「アートの面白さを再発見した」

■ 寄付者一覧

2019年4月1日～2020年3月31日にご寄付くださった方のなかから、お名前の公表をご許可いただいたみなさまをご紹介します（敬称略・五十音順）。

青木久男、赤枝操、赤澤香恵、赤羽大四郎、秋吉順子、阿部圭子、雨積涼子、安藤清貴、井佐恵子、石井鈴子、石原民子、伊関美奈子、板倉明子、板倉裕史、一條多恵子、井土都貴子、伊藤真由美、伊藤早苗、伊藤昭彦、伊藤幸一、伊藤澄子、伊藤美智子、井戸田素子、井上雅貴、岩畔幸子、岩間登美子、上坂紀夫、上田知明、植田浩二、上田睦規、上田敏夫、上野誠治、内田芳子、榎本裕一、大石利男、大賀泰三、大崎あけみ、大島和枝、大谷真知子、岡敏子、岡本育子、奥村俊博、小澤通子、小田悦子、小沼精司、折原悠子、貝原美樹子、垣東広美、柏いつ、柏原宣子、片倉敬彦、嘉戸秀美、加藤美帆、金子治代、神澤千尋、川崎徹朗、河田茜、河野和子、川俣治之、喜入晴美、菊地勝幸、菊地淳一、菊地則好、菊池恩恵、木田征嗣、木高道子、北村明也、木村高寛、木村秀樹、金城幸子、草壁健、工藤貴史、熊谷君子、倉科嘉夫、栗原真知子、来間誠司、黒岩淑子、小池昭三、河野のり子、木暮正行、小平恵子、小平彩見、後藤忠昭、虹釜和昭、小林克知、小林美智子、小林律子、小松宏江、小柳ひろ子、近藤景子、近藤美紀、齋藤りつ子、斎藤安正、佐伯めぐみ、佐伯智子、坂口睦男、坂田佳美、相模一男、寄とも子、櫻井彩乃、櫻井理恵、佐々木克典、佐々木夏世子、佐治千里、佐藤忠仁、佐藤和弘、佐藤律子、佐藤博子、里見裕子、澤良世、澤太郎、信太明男、清水信江、志村立矢、下野戸亜弓、白川光雄、神保和子、新屋康夫、菅原睦美、杉田尚子、鈴木真寿子、住吉廣行、曾我克美、十亀有紀、園部倫理、高木朝子、高綱理帆、高橋美智子、高橋俊文、高橋英子、瀧口恵子、滝澤智樹、田口弘美、武井一二三、竹内綾、竹内経、竹下景子、田澤誠、太刀川久夫、立松房枝、田中友広、田中洋子、田中美恵子、種村初江、田丸尚美、田村裕子、田村博康、田村恵子、丹野由美子、近松美喜子、辻村益朗、土田忠敬、坪田慶子、どいしげこ、遠山定雄、土手千尋、富田雅子、長岡春奈、中川暁、中川薫、中島啓幸、永島宣江、中瀬隆明、中谷至孝、中西時夫、中俣澄子、中村収、中村由美、中村秀雄、中村紀寿、那須野郁子、西尾路子、西尾泰広、西村修、仁衛琢磨、野崎二郎、長谷川久子、畠山隆司、馬場潤、原田聖子、平山玲昆、平山泰代、広瀬紀子、札幌義浩、淵脇文雄、古川正巳、星祐樹、星野宏子、本多淳子、本多孝子、前田直美、益子良一、益川洋子、松浦泰二、松田栄子、松田和子、松本繁、松本恭子、丸山鈞、三上俊輔、宮澤孝昇、宮下和也、宮本宣孝、宗本哲司、村井範子、村上潔、村上耕平、村上弘治、森江さつき、森島仁、森本哲、柳下昭夫、山浦英樹、山口麻衣子、山口文枝、山口恵、山口智徳、山口喜代子、山田久夫、山元寿美代、山本朋子、山本正道、山領まり、吉岡正俊、吉田勝彦、吉村苑子、渡辺淑子、渡部恵子

この一年間、公益財団法人いわさきちひろ記念事業団、ちひろ美術館の支援会員として、私たちの活動を支えてくださり、ありがとうございました。

2020年度経過報告

○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、東京館は3月28日から6月19日まで、安曇野館は、4月11日から6月26日まで臨時休館しました。また、ギャラリートークならびに読み聞かせ会、講演会やワークショップを中止しています。秋以降、オンラインでの開催も予定しています。

○「おうちで楽しむちひろ美術館」：外出できず美術館を訪れられない方も、自宅からいわさきちひろやちひろ美術館について学べるコンテンツを、公式サイト内で公開しています（7か国語対応）。¹⁸

○ちひろ美術館（東京・安曇野）は、日本博物館協会が新たに創設した「日本博物館協会賞」の第1回目の受賞施設に選出されました。



18

■ 公益財団法人いわさきちひろ記念事業団は、次のような目的をもって活動しています。

子どものしあわせと平和を願いつづけた絵本画家いわさきちひろの業績を記念し、文化の民主的・多面的発展に寄与する活動をおこなう。散逸しやすい絵本の原画を人類の文化遺産と位置づけ、絵本芸術等に関する資料を収集・保管・展示して教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業をおこない、あわせて、これら資料に関する調査研究をおこなう。（「公益財団法人いわさきちひろ記念事業団定款」より抜粋）

■ 支援会員の輪を広げてください。

ちひろ美術館の支援会員制度について、ぜひお知り合いにご紹介ください。詳しいご案内やチラシをご希望の方は、希望部数と送付先（お名前、ご住所、お電話番号）をお知らせください。

○申し込み先：ちひろ美術館・東京 支援会員制度担当 〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2
TEL. 03-3995-0612 FAX 03-3995-0680 E-MAIL shienkai@chihiro.jp

・「支援会員制度」はクレジット決済による入会が可能です。

<https://chihiro.jp/foundation/donation/> ※外部サイト Syncable に遷移します。

※SyncableはGoogle Chromeなどのブラウザをご利用ください（Internet Explorerはサポートされておりません）。

ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 TEL. 03-3995-0612 FAX 03-3995-0680
E-MAIL chihiro@gol.com

安曇野ちひろ美術館

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24 TEL. 0261-62-0772 FAX 0261-62-0774
E-MAIL chihiroa@seagreen.ocn.ne.jp

chihiro.jp

2020年9月発行

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 支援会員制度 2019年度 活動報告書



いわさきちひろ パラと少女 1966年

支援会員のみなさまへごあいさつ

ちひろ美術館、(公財)いわさきちひろ記念事業団へのご支援に、心より、お礼を申し上げます。

2019年度は、2018年いわさきちひろ生誕100年で行った取り組みを踏まえて、さらに発展した活動をおこなった年でした。18年に「ひろしま」展を開催した写真家の石内都さんは、いわさきちひろの遺品を撮影して新たに「都とちひろーふたりの女の物語」展を開催してくださいました。また、オーストラリアの画家、ショーン・タンの展覧会は、世界的にもこれまでにない大規模な展覧会として話題となりました。

その一方で、年度の終わりには、世界的規模で新型コロナウイルス感染症が広がり、日本を含め世界中の人々の健康と暮らしを今も脅かしています。「自粛」が求められるなかで、ちひろ美術館も感染防止のための臨時休館を初めて経験しました。再開後も、感染予防に努める日々を過ごしています。見えないウイルスの脅威や不安が人と人を分断して、いわれのない差別や暴力につながる現実や、コロナ禍で一層広がる経済格差に多くの人が困難な生活を強いられているニュースに、心を痛める日々も続いています。

人間の歴史のなかでは、広範囲な感染症もそれに伴う差別や暴力も、繰り返されてきたと言われます。私たちは、そうしたきごとをさまざまな文化、たとえば、文学や絵画、近年では映像や記録から知ることができますが、同時に、美術や文学、音楽、演劇、映画等々の文化・芸術にふれることで、ほっと心を落ち着かせたり、元気がわいてきたり、やさしい気持ちを取り戻したりもします。文化・芸術とふれることで、私たちは自分以外の存在を認識したり、別の考え方があることを知ったり、過去の歴史から今を見つめてこれからのことを考えることにつながっていきます。

みなさまにご支援をいただき、ちひろ美術館は、こんな時代だからこそ、変わらず、いつ来ていただいてもだれもが心穏やかな時間を過ごせる場としてあり続けたいと思います。

「子どもはみんな未来だから」と語ったいわさきちひろの思いをみなさまとともに大切に、「未来」への「希望」を発信し続ける存在でありたいと思います。これからも、どうぞ、よろしく、お願いいたします。

公益財団法人
いわさきちひろ記念事業団
理事長

山田 洋子

ちひろ美術館（東京・安曇野）
館長

辻 柳 幸子

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 ちひろ美術館（東京・安曇野） 2019年度活動報告書

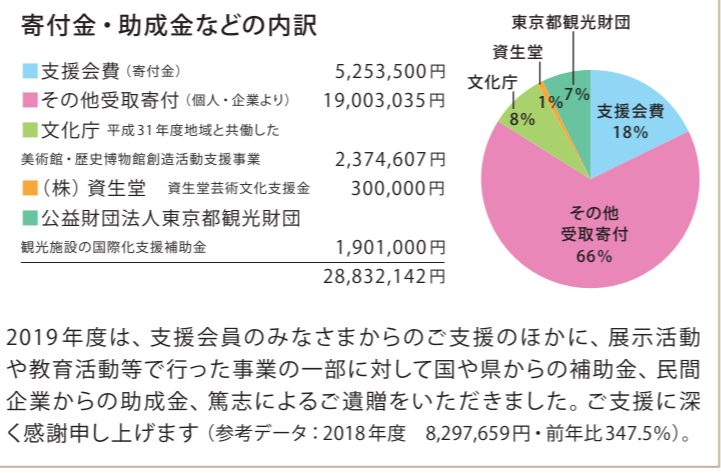
支援会員の状況 (2019年4月1日～2020年3月31日)

■会員数：有効会員数441名（新規60名、継続381名）

■支援会費：5,253,500円

<参考データ：2018年度 有効会員数 453名（新規106名、継続347名）
支援会費3,232,500円>

■支援会費の使途：絵本原画の収集・保存・研究・展示公開、絵本の普及、国内外での絵本文化支援の活動等に充当させていただきました。
(p.2-4では主な活動を中心にご報告いたします)



1. 美術館の設置・運営

■来館者総数 ちひろ美術館・東京：52,629人（前年度比99.2%）
安曇野ちひろ美術館：115,126人（前年度比83.9%）
両館合計：167,755人（前年度比88.1%）

2. 展覧会・講演会の開催

■ちひろ美術館・東京での展覧会

- 3月1日～5月6日 ■ちひろ美術館×文化服装学院 共同企画 ちひろのキッズファッション 1
- ちひろ美術館コレクション展 絵本で楽しむ装い
- 5月11日～7月28日 ■ちひろが描いた日本の児童文学 ■<企画展> ショーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ 2
- 8月2日～10月27日 ■「ちひろさんの子どもたち」谷川俊太郎×トラフ建築設計事務所 3
- 11月1日～2020年1月31日 ■石内都展 都とちひろ ふたりの女の物語 4



■安曇野ちひろ美術館での展覧会

- 3月1日～5月13日 ■かわいいものが好きーいわさきちひろ展 ■<企画展>一童画運動の旗手ーねこの画家 安泰展 5
- ちひろ美術館コレクション展 ねこ・ねこ・ねこ
- 5月17日～7月16日 ■信州花フェスタ2019開催記念 ちひろ・花とともに生きて 6 ■ちひろ美術館コレクション展 列車でいこう!
- 7月20日～9月30日 ■ちひろ・アンデルセンの世界 ■ちひろ美術館コレクション展 世界のおはなし
- <企画展> 童画の国のパイオニアたちー日本童画家協会の七人ー 7
- 10月4日～12月15日 ■ちひろ・ていねいなくらし ■ちひろ美術館コレクション展 国交100周年 ポーランドとフィンランドの絵本
- <企画展> 瀬川康男 坦雲亭日乗一絵と物語の間（あわい） 8



■他館と提携する展覧会

- 「生誕100年 いわさきちひろ、絵描きです。」 ○福岡アジア美術館 4月20日～5月26日
- ピエツグラフィによるいわさきちひろ展
 - 越前市武生「ちひろの生まれた家」記念館（福井県）9
 - ①3月20日～6月8日 ②6月19日～9月7日 ③9月18日～11月30日 ④12月11日～2019年3月1日
 - 丹波市立植野記念美術館（兵庫県）4月13日～5月19日
 - 南アルプス市立美術館（山梨県）7月13日～8月31日
 - 神奈川県立地球市民かながわプラザ（神奈川県）10月12日～11月24日



3. 作品・資料の収集、保存、並びに、調査、研究

2019年度、新たに161点を収蔵
いわさきちひろ=9,612点
世界の絵本画家（世界34の国と地域・206人の画家）=17,789点
合計27,401点（2020年3月31日現在。寄託作品含む）



4. 教育活動

■東京館

- 3月21日 「ちひろのキッズファッション」展示関連講演会（講師：朝日真）
- 6月29日 「ショーン・タンの世界展」関連対談
「ショーン・タンの世界を語る」 岸本佐知子×柴田元幸 10
- 9月8日 「ちひろさんの子どもたち」展示関連
谷川俊太郎×谷川賢作コンサート
- 11月4日 あかちゃんのための鑑賞会（講師：富田めぐみ） 11
- 11月30日 「石内都展」展示関連 石内都×上野千鶴子対談
「都とちひろ ふたりの女の物語」 12

■安曇野館

- 6月9日 「列車でいこう」展示関連講演会 「鉄道好き集まれ！ 鉄道博物館の方に聞いてみよう！」（講師：猿山彰） 13
- 8月1日～16日 地元中学生との提携活動 14
- 9月8日 鈴木まもる講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ」 15
- 9月16日 「童画の国のパイオニアたち 日本童画家協会の七人」展示関連講演会「童画家・武井武雄の刊本の世界」（講師：河西見佳）
- 10月19日 瀬川康男 坦雲亭日乗一絵と物語の間」スライドトーク



5. 普及活動

○季節ごとの病院院内展示・ワークショップの実施
東京女子医科大学病院/聖路加国際病院/長野県立こども病院/埼玉医科大学総合周産期母子医療センター/国立成育医療研究センター/同センター内子どもホスピス「もみじの家」/富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
○読み聞かせ会の実施
ちひろ忌に『戦いのなかの子どもたち』などの絵本の読み聞かせを、トラフ建築設計事務所の「こどものへや」のなかで開催。 16



6. 国際交流

○海外での展覧会開催に向けての準備。
○海外の絵本関係者の研修・交流・視察受け入れ
○館内情報の多言語化、バリアフリー化

2019年度刊行の書籍等〈国内〉

- 『ちひろノート、Life』 ちひろ美術館 企画・編集 求龍堂 17
- 『ショーン・タンの世界 どこでもないどこかへ』 ちひろ美術館 監修 原島恵 執筆 求龍堂
- 『都とちひろ』 石内都 著 求龍堂
- 新装改訂版『初山滋 永遠のモダニスト』 竹迫祐子 著 河出書房新社

2019年度刊行の書籍等〈国外〉

- モンゴル語版 青い鳥文庫『窓ぎわのトットちゃん』
- インドネシア語版『窓ぎわのトットちゃん』

その他

○ちひろ美術館（東京・安曇野）が、2019年カール賞（Carle Honors）の架け橋賞（Bridge）を受賞しました。

2019年カール賞を受賞 ©Johnny Wolf